



# NEWS RELEASE

2018年12月20日  
東ソー株式会社

## 「東ソー研究・技術報告」最新巻発刊のお知らせ

東ソーは、最新の研究開発成果を紹介する「東ソー研究・技術報告」第62巻を本日発刊しました。本誌は1957年の創刊以来、当社グループの研究所、技術センターなどの研究開発部門によるテクニカルレポートとして、報文、技術資料、投稿論文要旨、講演リスト、特許情報および製品紹介など多岐にわたる内容を掲載してきました。

最新巻では、有機合成化学協会の企業冠賞「東ソー・環境エネルギー賞」を受賞された京都大学 藤田 健一 教授、またゼオライト研究の権威である広島大学 佐野 庸治 教授にご寄稿いただいた総合報文（2編）を、さらに研究開発部門による報文（11編）、技術資料（6編）を収録しています。

また、当社は研究開発を行うにあたって、持続可能な開発目標（SDGs）の考え方を取り入れ、サステナブルな社会を目指し開発を進めています。報文・技術資料の製品・開発品がSDGsのどのゴールを目指しているかを分かりやすく整理すると同時にロゴを付与しています。収録タイトルは下記のとおりです。

最新巻およびバックナンバーは、当社ホームページで閲覧いただけますので、ご利用ください。【 <https://www.tosoh.co.jp/technology/report/index.html> 】

今後も、当社事業のさらなる発展に寄与する研究開発成果を発信してまいります。

記

<収録タイトル>

1. 巻頭言

「世界一革新的な研究・技術開発力の創出に向けて」

代表取締役専務執行役員 田代 克志

2. 総合報文

「有機分子の触媒的脱水素化を基軸とする効率的有機合成ならびに水素貯蔵・水素製造」

京都大学 藤田 健一 教授

「ゼオライト水熱転換法による高耐久性ゼオライトの合成およびNH<sub>3</sub>-SCR触媒への応用」

広島大学 佐野 庸治 教授

東ソー株式会社 広報室

東京都港区芝3-8-2 〒105-8623  
TEL 03(5427)5103 FAX 03(5427)5195  
<http://www.tosoh.co.jp>



# NEWS RELEASE

## 3. 報文

- 「新規卵巣明細胞癌マーカーTFPI2の臨床的有用性」
- 「非天然型立体構造抗体検出技術の開発」
- 「金属酸化物担持メソポーラスシリカの開発と紫外線遮蔽材への応用」
- 「機械学習によるブロック共重合体の物性推算」
- 「高移動度、高安定性信頼性を有する短チャンネル有機トランジスタ用材料の開発」
- 「エチレンのオキシ塩素化触媒における劣化要因の解析と寿命予測への利用」
- 「HDPE/LLDPEブレンドの部分融解と結晶化」
- 「イットリア安定化正方晶ジルコニアの低温劣化：粒界偏析誘起相変態の影響」
- 「ウレタン系塗料の耐薬品性発現に関する研究と、それに基づく新規プラスチック用クリアコートの開発」
- 「省エネルギー型食塩電解槽の開発」
- 「MALDI - TOF/MSによる1細胞のリン脂質解析」

## 4. 技術資料

- 「クラミジア／淋菌 rRNA 検出試薬 TRCReady® CT/NGの開発」
- 「マイコプラズマ rRNA 検出試薬 TRCReady® MPの開発」
- 「アルデヒド捕捉剤 AC454の開発」
- 「低温加工用ペースト塩ビの特徴と適用例」
- 「無黄変熱可塑性ポリウレタンエラストマー」
- 「『設備中心』情報共有ポータルを活用事例」

以上